

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	伊万里市立山代中学校		
1 前年度 評価結果の概要	・学力向上…ICTの活用や対話活動を積極的に授業に取り入れ、意欲喚起や学習内容のわかりやすさ等においては生徒たちに好評だった。資料や根拠に基づく説明や論理的に考えることに課題が見られる。 ・心の教育…生命尊重、いじめ防止、思いやりや豊かな心の育成について継続的に取り組み、一定の成果を得た。生徒の自己有用感・自己肯定感の醸成、人間関係調整力の育成、保護者への啓発等の課題がある。 ・健康・体づくり…コロナ禍で可能な限りの活動に取り組んだ。スマホ等の利用時間・ルールづくりを含めた生活習慣、食事の大切さとしてしっかり食べることの指導を継続していく必要がある。 ・特別支援教育の推進…支援部会を定期的に行い、全職員での共通理解を行った。個別の特性に応じた支援のあり方を確認し、引き続き共通実践を行っていく。		
2 学校教育目標	心豊かでたくましく、志を持つ生徒の育成 ～自己肯定感・自己有用感の醸成「させて、褒めて、認める」～		
3 本年度の重点目標	「確かな学力」…話し合い活動の充実、発信力の育成 「豊かな心の育成」…道徳教育の充実、人間関係調整力の育成 「健やかな体の育成」…感染症対策、食育の推進 「生徒指導の充実」…生徒の出番をつくる開発的生徒指導、いじめの早期発見・早期解決	「地域とともにある学校づくりの推進」…情報発信 「家庭の教育力の向上」…PTA活動の促進・共通実践、家庭学習・スマホ利用のルールづくりの啓発 「小中連携の推進」…相互理解と交流、児童生徒の人間関係調整力の育成 「働き方改革の推進」…定時退勤日の徹底、組織的な業務遂行の推進、会議の精選	

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1) 共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)					
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上。 ○対話により、考えが深まったと感じる生徒80%以上。	・基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着に向けた指導及び共通実践を行う。 ・対話学習や協働活動による課題解決学習を取り入れた授業づくりを行う。				
	○家庭学習の習慣化を図る取組と啓発	○1日の家庭学習時間が1年70分、2年80分、3年90分以上の生徒の割合が80%以上。	・SAの時間で計画した家庭学習に取り組みせ、家庭学習の習慣化と課題提出の徹底を図る。				
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「考える道徳」「議論する道徳」の授業づくりと輪番での授業実践。 ○相手の立場を考えて自分の考えを適切に伝えることができる生徒70%以上。	・各種集会や朝の班活動での交流活動を通して自他の理解の促進を図る。 ・感徳のシェアリング、いまりっ子くさの唱和等を行う。				
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答する教員100%。 ○学校生活満足度の肯定的回答率80%以上。	・毎月の生徒指導アンケート(心のアンケート)教育相談の結果について学年職員で共通理解を図り、「いじめ」に対する取り組みを全職員で徹底して行う。				
	○命の教育の推進	○「学校ではいのちや生き方について考える機会がある」という項目で肯定的回答90%以上。	・外部講師による講話等で「命と生き方を考える週間」の取り組みの充実を図る。 ・長期休業前後に心の状態やその対処法、命の尊さについて考える機会をもつ。				
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	○早寝(23時まで就寝)の達成率が70%以上。 ○スマートフォンやタブレット端末の1日の利用時間2時間未満が70%以上。	・生活状況調査、食に関する調査の結果を各種たよりに掲載し、啓発を図る。 ・生徒会で、スマホやタブレット端末の利用時間等の問題点を取り上げ、改善策について考える取り組みを行う。				
	○望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒85%以上。 ○朝食喫食率80%以上。 ○食への感謝をもち、給食を通じた健やかな体づくりの推進。	・食育講話等を通して食の重要性についての意識を高め、実践につなげる。 ・学校生活全般において食事、特に朝食の必要性を理解させる。 ・食事のマナーや給食をしっかり食べる習慣を身につけさせる。				
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守。	・OJTIによる人財育成に努める。 ・組織的な業務運営による仕事量の均衡化を図る。 ・定時退勤・部活休養日の徹底を図る。				
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)					
○特別支援教育の推進	○職員研修と生徒理解 ○具体的な手立てと体制づくり	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答する教職員の割合が80%以上。 ○生徒理解に基づく合理的配慮ができたと回答する教職員100%。	・職員研修会、支援会議などを適宜実施し、共通理解を図る。 ・特別支援学級担任の部会を定期的開催する。				
◎自己肯定感の醸成と自己実現に向かう態度の育成	○キャリア教育・進路学習の充実 ○生徒自治力を高める学級経営 ○開発的生徒指導の実践	○目標をもって意欲的、主体的に諸活動に取り組んだと回答する生徒80%以上。 ○学級の中で自分の出番や役割があると回答する生徒80%以上。	・話し合い活動の充実により、課題解決や企画運営の力を養う。 ・体験活動、生徒会活動、各種実行委員会等を推進する。				

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育